



はなもみじ

平成22年
7月28日

屋代
小学校

春秋ごくに匂うなり

今年の夏休みはただ一度 ~ 7月29日(木)から8月18日(水) ~



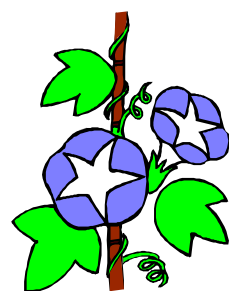
7月29日から21日間の夏休みに入ります。お子さんを学校からご家庭へとお返りする3週間となるわけです。

いつもは忙しく、親子でふれあう時間が少ないかと思いますが、夏休みはお子さんと過ごす貴重な機会です。

低学年

のお子さんには、普段はなかなかできない、体と体のふれあいを大切にして接してあげて

ください。親子一緒の自然体験や農作業、読書等もよいと思います。スキンシップを通して、お子さんが「自分は大切に思われている」「愛されている」といったことを感じ、親の願いを理解しながら、よい自分になろうと努力していくようになってほしいものです。



また、自分のことは自分でできるようにしたり、家族の一員として役割(=仕事)を果たしたりする中で、自立心も養っていただければと思います。

高学年

のお子さんには、じっくり向き合って話をする等して、心と心のふれあいを大切にしてください。休みの過ごし方

について、こうなさいと一方的に指示したり、ここがだめだと叱ったりするばかりでなく、お互いが気持ちを理解し、心を通わせる努力をしていただければと思います。

思春期に向う時期の心は複雑で、悩みを抱えることがあります。その気持ちを子どもの立場に立って理解してあげましょう。そして、子ども自身が計画をし、やり遂げることで、自信を育てていきましょう。

今年の夏休みはただ一度！ 親子・家族の絆を強めるよい機会とし、充実した3週間で過ごしてください。

関真理子先生、ありがとうございました。

2年竹組、関先生が終業式をもって、ご退職となります。

牧志帆先生の育児休業で、平成18年1月よりお世話になりました。竹組以外の大勢の児童も指導していただきました。心より感謝いたします。今後、東小学校でお勤めになられます。

牧先生は、2学期より、2年竹組担任として復帰されます。



2年乗り物遠足で、子どもたちと一緒に

子どものころは、夢や希望をいただくものです。大人にとって、無理だと感じたり、変に思えたりしても、その夢や希望に耳を傾けてあげましょう。

将来への夢や希望がもてずにいると、難しい目標は挑戦する前にあきらめてしまうでしょう。今の子どもは冷めているとよくいわれますが、夢や希望を与えていない大人に責任があるかもしれません。

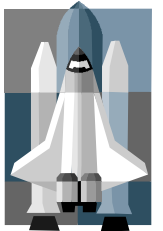


夢や希望は子どもを強くする

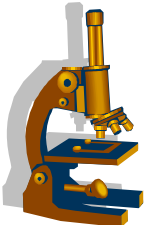


発達障害のある子どもは、見通しがもちにくく、今やっていることの意味がわからずに苦しんでいることがあります。

ときには、将来の夢に向けて、それを達成する道すじを一緒に考えてみることもよいでしょう。今、苦手な教科も、夢をかなえるために必要な勉強であることがわかると、納得して取り組みようになるかもしれません。



世の中には、長い間にわたって苦勞して、夢を実現したりっばな人々がたくさんいます。また、私たち自身も、自分なりに夢に向けて努力をしてきているはずですが、伝記などの本を紹介したり、自分自身の経験を話したりしてあげることもいいでしょう。

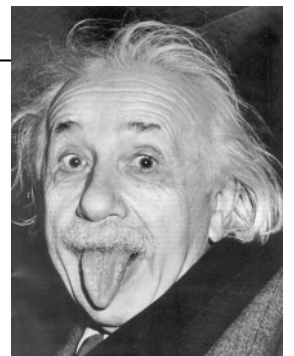


人生は目標に向けて、汗を流し、失敗を重ねながら歩いていくもの。私たちは、子どもの人生の応援団でありたいものです。

偉人の中には、発達障害ではなかったかと考えられる人々も多くいます。例えば、アインシュタインは4歳まで言葉を自由に繰ることができなかったそうです。彼の時代には、発達障害という概念はありませんでしたが、成功のかけには、大きな努力があったことでしょう。劣っている面があるからこそ、それを代償しようとして他の能力が発揮されることがあるといえます。普通ならば眠っている才能が目覚めたのかもしれない。

【アインシュタインの言葉から】

何かを学ぶためには、自分で体験する以上にいい方法はない。私は天才ではありません。ただ、人より長く一つのことと付き合っていただけです。学校で学んだことを一切忘れてしまったときになお残っているもの、それこそ教育だ。



相対性原理のことはわからないけど、アインシュタインのことはよくわかっています。

by アインシュタインの妻（天才のかけに、よき理解者ありでしょうか）